

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) カナガワダイガク	フリガナ) ケイエイガッカ	フリガナ) ユキモト
神奈川大学	経営学科	行本ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ホウニチガイコクジンカンコウキヤク ウケイレタイセイカイゼン	フリガナ) オオヤマレオ	5	無	
訪日外国人観光客受け入れ体 制改善	大山侑央			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

調査時に使用したアンケート、配布予定のリーフレット

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

観光公害～マナーの「知らない」をなくす～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

本研究は、観光公害に着目し、外国人観光客を観光公害の加害者にさせないという目的を持って進める。2011年より訪日外国人観光客が年々増加しており、それとともに外国人のマナーの悪さがニュースになることが多くなった。その様なマナーの悪さは、外国人と日本人の間にマナーへの認識の差があることが原因であると考え。その認識の差を埋めるために、リーフレット、SNS を通してマナーを訪日外国人観光客に再認識してもらう。初めにホステル・ゲストハウスで設置し、結果を得られた後、観光客の多い地方自治体などに協力を仰ぎ設置場所の拡大を試みる。駅、空港といった訪日外国人観光客が多く使用する施設への設置も目標とする。

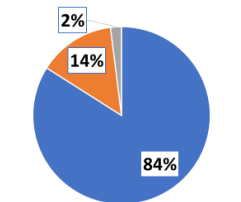
2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

観光公害とは、観光客が残していくごみ、撮影禁止場所での撮影によるプライバシーの侵害、騒音、喫煙マナーなどによりその地域の自然環境や生活環境が侵害されることを言う。本グループが独自に実施した新宿駅周辺での街頭アンケートによれば、

外国人 50 人のうち 42 人が日本のマナーを守っていると回答していた。しかし、その反面、日本人 50 人のうち 28 人が「外国人のマナーが気になることがありますか？」という質問に対して「気になる」と答えている。ここで、外国人のマナー意識と、日本人のマナー意識との間に大きな差があることがわかる。特に、国内の宿泊施設周辺では宿泊客によるごみのポイ捨て、夜間の騒音、喫煙マナーなどが問題となっている。これらの問題は外国人が日本人の騒音に敏感であること、喫煙マナーに厳しいことを「知らない」ことによって起こる問題だと考え、その「知らない」を認知させることで解決できると推測した。また、2018 年 6 月 15 日に民泊新法が施行され、民泊の規制が緩和され、これらの問題の範囲が広域になることが危惧される。

街頭アンケートin新宿

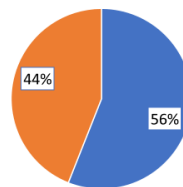
Q.日本のマナー、ルールを守ろうとしていますか？



■ Yes ■ No ■ I don't know
対象：外国人
人数：50人
場所：新宿駅周辺
日時：7/21 AM11:00~PM3:00

街頭アンケートin新宿

Q.街中で外国人のマナーが気になることがありますか？



■ はい ■ いいえ
対象：日本人
人数：50人
場所：新宿駅周辺
日時：7/21 AM11:00~PM3:00

2018年6月15日民泊新法施行

今まで

条件を満たした
施設のみ
宿泊サービス
行える

規制緩和

これから

役所に届け出れば
一般家庭でも
宿泊サービス
行える

10

3. 研究テーマの課題

本テーマの課題は外国人観光客が日本のマナーを知らないということである。アンケートの結果から、訪日外国人観光客は日本のマナーを守っていると 84%が答えているのにも関わらず、日本人は外国人観光客のマナーが気になると半数以上が回答していた。なぜ両者の間にギャップが生じてしまうのか。それは訪日外国人観光客が日本の細かいマナー、そして日本人がいかにマナーを重んじているのかわからないからである。一方の日本人は、外国人がマナーを「知らない」ということを知らないため、マナーを守っていないとみなし、マイナスなイメージを持ってしまっている。この両者のギャップを改善するためには訪日外国人観光客に日本のマナーを知ってもらう必要がある。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

上記のことから、私たちは訪日外国人観光客の「マナーを知らない」をなくすために、マナー啓発リーフレットを提案する。初めにリーフレットを作るにあたって、参考にしたリーフレットがある。それが京都の「AKIMAHEN」という観光客向けリーフレットである。このリーフレットの効果は大きく、平成 27 年当時と比べ、外国人のマナーに対する苦情が減ったそうだ。また、海外の口コミサイト等で、リーフレットについて前向きな投稿が多数あったという。これらの効果から、マナー啓発リーフレットを作成することは課題解決に適していると結論付けた。

私たちの提案するリーフレットにはいくつかの代表的な日本のマナーを、ヒストグラムを利用して記載する。かつ英語以外に中国

語など、多言語にも対応した作りとなっている。そしてリーフレットのみならず twitter、instagramを活用し、画像や動画などといった発信手段も利用し、より多くの訪日外国人観光客に様々な情報を提供しようと考えている。



5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

今年の4月から訪日外国人受け入れ態勢改善をテーマに活動してきた。これまでの活動として、まずインターネットや論文による現状分析を行った。日本における訪日外国人観光客の受け入れ体制の数ある問題の中から、私たちは外国人のマナーに着目した。宿泊施設を対象に訪日外国人とのトラブルの調査、また新宿で日本人を対象としたアンケート、外国人を対象としたアンケートを行った。宿泊施設に直接インタビューしたのが3件、メールで宿泊施設にアンケート調査をしたのが36件。7月21日に実施した新宿の街頭アンケートでは、日本人と外国人、各50人にアンケート調査に協力してもらった。このアンケート調査の結果から日本人と外国人とのギャップがあることがわかった。そこで、外国人に日本のマナーや習慣を知ってもらおうと私たちはヒストグラムを利用したリーフレットの作成や、SNSを利用し、街中でのマナーや日本人の習慣について発信している。

6. 結果や今後の取り組み

今後は、SNSを定期的に更新し、マナーの認知を広める。それと同時に、ホステル・ゲストハウスで実験的にリーフレットを配布・設置、実績を得た後、地方自治体に協力を仰ぎ、設置場所の拡大を試みる。また、外国人観光客が必ず利用する駅、空港といった場所にもリーフレットを設置し、包括的に外国人に対する認知を高めていく。アカウントのアクセス数、口コミなどで認知度を確認する。

7. 参考文献

観光庁 “訪日外国人旅行者数の推移”

http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryoku/toukei/in_out.html

・JTБ 総合研究所インバウンド “訪日外国人動向”

<https://www.tourism.jp/tourism-database/stats/inbound/>

・ZUUOnline “民泊新法が6月15日施行へ 民泊を始める人が注意したい3つのポイント”

<https://zuuonline.com/archives/184621>

・訪日ラボ “「観光公害」とは何か？ 京都の夜桜ライトアップ中止に見る実際の観光公害事例”

<https://honichi.com/news/2017/06/21/kankokogai/>

・朝日新聞 “目立つ「観光公害」”

<https://www.asahi.com/sp/articles/DA3S13460702.html>

・中央日報 “観光公害に悲鳴をあげる日本”

<http://s.japanese.joins.com/article/345/241345.html>

・日本経済新聞 “広がる「観光公害」へ対策を急ごう”

<https://r.nikkei.com/article/DGXXKZO21237260Y7A910C1PE8000?s=3>

・民泊の教科書 “民泊のトラブル事例”

<https://minpaku.yokozeki.net/minpaku-trouble/>

・東洋経済 “マナーの悪い外国人観光客を冷静に考える”

<https://www.google.co.jp/amp/s/toyokeizai.net/articles/amp/186506%3fpage=3>

・訪日ラボ “観光公害”

<https://www.google.co.jp/amp/s/honichi.com/news/2017/06/21/kankokogai/amp/>

・YOMIURI ONLINE “日本での観光公害”

[https://www.yomiuri.co.jp/fukayomi/ichiran/20171026-](https://www.yomiuri.co.jp/fukayomi/ichiran/20171026-OYT8T50011.html?page_no=2&from=yartcl_page)

[OYT8T50011.html?page_no=2&from=yartcl_page](https://www.yomiuri.co.jp/fukayomi/ichiran/20171026-OYT8T50011.html?page_no=2&from=yartcl_page)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合は同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ **ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください**